

第1章 祐天寺駅周辺地区の現状と課題

本地区の街づくりにおいては、地区生活拠点の形成を図るために、地区の現状を踏まえた課題を把握・整理し、解決することを主眼としつつ、本地区の魅力や特性を最大限活かした街の形成に向けた取組が必要となります。

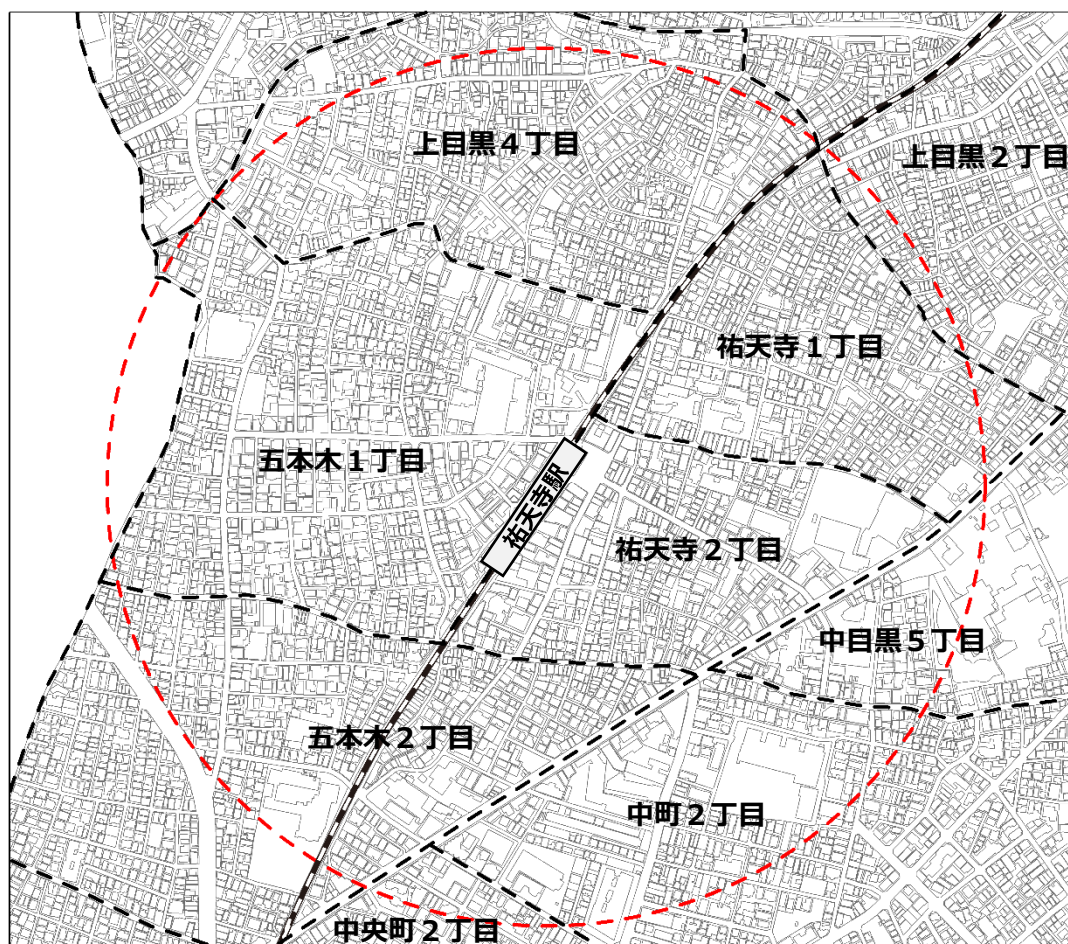
ここでは、今後の街づくりを考える上での前提となる、本地区の現状と課題を整理します。

1. 地区の範囲

整備構想の対象範囲は、祐天寺駅を中心とした概ね半径500mの範囲内[※]とします。

町丁別では、祐天寺1・2丁目、五本木1・2丁目、上目黒2・4丁目、中目黒5丁目、中町2丁目、中央町2丁目の9町丁目の全域又は一部が対象となります。

図 対象範囲



※本地区は、目黒区都市計画マスタープランにおいて地区生活拠点に位置づけられるとともに、目黒区交通バリアフリー推進基本構想（平成24年3月）では、駅からの徒歩圏内の主要施設間の経路や概ね500m圏内に立地する商店街を主な対象としており、他の整備計画等でも概ね半径500m圏を対象範囲としています。これら区の計画等との整合を図り、本地区の対象範囲としました。

2. 本地区の成り立ち

本地区は、旧鎌倉道が通っていたとされ江戸中期には祐天上人の高弟の祐海上人が師の意志を受け継ぎ享保3（1718）年祐天上人を開山と仰ぐ一寺を創建、享保7（1722）年に八代將軍徳川吉宗から『明顕山祐天寺』の寺号を授与されました。「祐天寺」のある中目黒村は、江戸へ農作物を供給する農村集落でした。

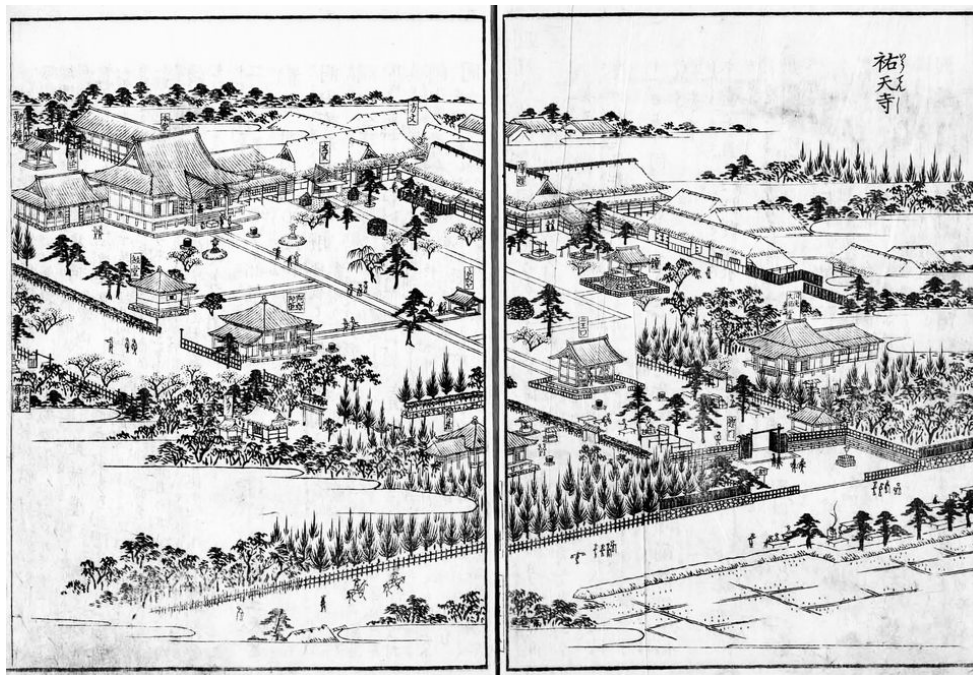
目黒区は、関東大震災（大正12（1923）年）で職場と住居を失った主に下町地域を中心とした市民が近郊の町村に避難してきたことと、東京の復興に伴い全国から上京する人が増え、東急目蒲線（現東急目黒線）が開通して沿線に居住者が増加し住宅地として発展しました。

さらに、昭和2（1927）年に目黒地域のほぼ中央を縦貫して通る東急東横線の開通が目黒地域（祐天寺地区）の発展に大きく貢献しました。沿線には中目黒駅・祐天寺駅・碑文谷駅（現学芸大学駅）・柿の木坂駅（現都立大学駅）・九品仏駅（現自由が丘駅）の5駅が開設され、駅を中心に土地利用が農地から宅地へと大きく転換し、第二次世界大戦の終戦となる昭和20（1945）年頃には、ほぼ全域が市街化されました。

そして、昭和35（1960）年頃に祐天寺駅前ロータリーの整備、昭和39（1964）年に東京オリンピックで使われる駒沢公園へのアクセスのための駒沢通り拡張整備と祐天寺駅の区間を含む鉄道高架化が完成し、祐天寺駅周辺の都市基盤に関する整備が進められ、現在に至っています。

※整備構想では、「祐天寺」は浄土宗明顕山祐天寺を指す。

■江戸時代における「祐天寺」



（出典：長谷川雪旦画「江戸名所図会」1857年 国立国会図書館蔵）

3. 上位・関連計画等

本地区は、「目黒区都市計画マスタープラン」をはじめ、下記が目黒区の上位・関連計画に位置づけられています。

- ①目黒区基本構想（平成12年10月）
- ②目黒区基本計画（平成21年10月）
- ③目黒区都市計画マスタープラン（平成16年3月）
- ④目黒区景観計画【改定】（平成24年4月）
- ⑤目黒区交通バリアフリー推進基本構想【改定】（平成24年3月）
- ⑥目黒区みどりの基本計画（平成28年3月）
- ⑦目黒区交通安全計画（平成28年4月）
- ⑧目黒区地域防災計画（平成29年3月 平成30年一部修正）

また、近隣商店街にふさわしい建築物の整備、誘導を行ない、周辺の住宅地との調和を図りながら、安全で快適かつより豊かで潤いのある商店街の形成を目的として、下記の地区計画が定められています。

- ⑨祐天寺栄通り地区地区計画（平成2年1月）

次頁に上位・関連計画等における本地区の位置づけを示します。

現在、目黒区基本構想については、令和2年度改定に向け取組を進めており、その後基本計画を改定する予定であり、同様に、目黒区都市計画マスタープラン等の改定があった場合は、整合性を図ります。

■上位・関連計画等の位置づけ



③目黒区都市計画マスタープラン（平成16年3月）

④目黒区景観計画【改定】（平成24年3月）

⑤目黒区交通バリアフリー推進基本構想【改定】（平成24年3月）

⑥目黒区みどりの基本計画（平成28年3月）

⑦目黒区交通安全計画（平成28年4月）

⑧目黒区地域防災計画（平成30年一部修正）

⑨祐天寺栄通り地区地区計画

（平成2年1月）

【拠点や軸】



③幹線道路（駒沢通り）



③地区生活拠点
※日常的な活動や交流の中心となる拠点

【土地利用】



③みどり豊かなゆとりある環境の維持・形成



③良好な住環境の形成



③商店街の魅力の向上



③幹線道路の沿道環境整備

【道路・交通】



③主要生活道路の整備



⑤バリアフリー整備地区



⑤主要経路



⑤主要施設

【地区計画】



⑨祐天寺栄通り地区地区計画

※安全で快適かつより豊かで潤いのある商店街の形成

【みどり】



⑥みどりの創出・育成軸（駒沢通り）

【景観】



④市街地特性に応じた基準（商業地）
※活力やにぎわいのある駅周辺や商店街の景観をつくる



上記以外 ④市街地特性に応じた基準（住宅地）
※ゆとりがあり、みどり豊かな調和のとれた住宅地の街並み景観を守り、向上させる



④歴史資源



④坂道や昔からの道を活かした景観形成

【防災】



③建物の不燃化・共同化・協調化
③細街路の整備



⑧地域避難所

【交通安全】地区全体



⑦子どもと高齢者の交通安全対策の推進
⑦総合的な自転車対策の推進